



## **NTN 株式会社**

2024 年 ESG 説明会

2024 年 12 月 20 日

## イベント概要

---

[企業名]	NTN 株式会社
[企業 ID]	6472
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	アナリスト説明会
[イベント名]	2024 年 ESG 説明会
[決算期]	
[日程]	2024 年 12 月 20 日
[ページ数]	32
[時間]	13:00 – 13:50 (合計：50 分、登壇：32 分、質疑応答：18 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	7 名 取締役 代表執行役 執行役社長 CEO (最高経営責任者) 鵜飼 英一 (以下、鵜飼)

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



社外取締役	小松 百合弥 (以下、小松)
執行役 グループ経営本部 副本部長	木下 俊平 (以下、木下)
執行役 グループ経営本部 副本部長	川端 恭弘 (以下、川端)
執行役 CTO (最高技術責任者)	中野 賀泰 (以下、中野)
カーボンニュートラル戦略推進部 部長	山崎 雅之 (以下、山崎)
グループ経営本部 コーポレート・コミュニケーション部 部長	長尾 立雄 (以下、長尾)

<b>[アナリスト名]*</b>	UBS 証券	佐々木 翼
	野村証券	王 博瓊
	大和証券	田井 宏介

\*質疑応答の中で発言をしたアナリスト、または質問が代読されたアナリストの中で、SCRIPTS Asia が特定出来たものに限る

---

## サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



## 登壇

---

**長尾**：それでは定刻となりましたので、NTN 株式会社、ESG 説明会を開始いたします。本日はご多忙のところ、当社の ESG 説明会にご参加くださり誠にありがとうございます。

初めに出席者をご紹介します。執行役社長、鵜飼です。

**鵜飼**：鵜飼でございます。よろしくお願いいたします。

**長尾**：執行役、人材戦略部および人事部担当、川端です。

**川端**：川端でございます。よろしくお願いいたします。

**長尾**：執行役、ESG 推進部およびカーボンニュートラル戦略推進部担当、木下です。

**木下**：木下でございます。よろしくお願いいたします。

**長尾**：執行役 CTO、中野です。

**中野**：中野でございます。よろしくお願いいたします。

**長尾**：カーボンニュートラル戦略推進部部長、山崎です。

**山崎**：山崎でございます。よろしくお願いいたします。

**長尾**：次に、リモートで参加している参加者を紹介いたします。社外取締役、取締役会議長、小松です。

**小松**：小松でございます。よろしくお願いいたします。

**長尾**：事務局は私、コーポレート・コミュニケーション部の長尾でございます。よろしくお願いいたします。

説明会は、先日、事前にご登録いただいていた方にメールでお配りしました説明会資料に沿ってご説明いたします。本日の資料は当社のホームページにも掲載しておりますので、お手元にはない方はご確認をお願いいたします。

本日は、ESG 経営の全体像と、その具体的な活動内容について、社長の鵜飼と社外取締役の小松よりご説明いたします。その後、質疑応答を行い、14 時 15 分の終了予定となっております。

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



それでは早速、鵜飼社長、よろしくお願いいたします。

## ①-1 NTNグループのビジョン



### NTNグループの理念

#### 企業理念

新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する

#### 目指す姿

「なめらかな社会」の実現



©2024 NTN Corporation 4

**鵜飼**：NTNの鵜飼でございます。本日はお忙しい中、当社のESG説明会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。また日頃より、株主様、アナリストの皆様にはご支援をいただきまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

4ページをご覧ください。当社はこれまで100年以上にわたり、エネルギーロスを極限まで低減する技術を提供し、あらゆる産業、そして社会の発展に貢献してまいりました。核融合など、次世代エネルギーの実用化やカーボンニュートラルに向けた技術革新が進展する中、ベアリングはこれまでもこれからも、私たちの暮らしに必ず必要となる省エネルギーのための技術です。引き続き新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献してまいります。

### サポート

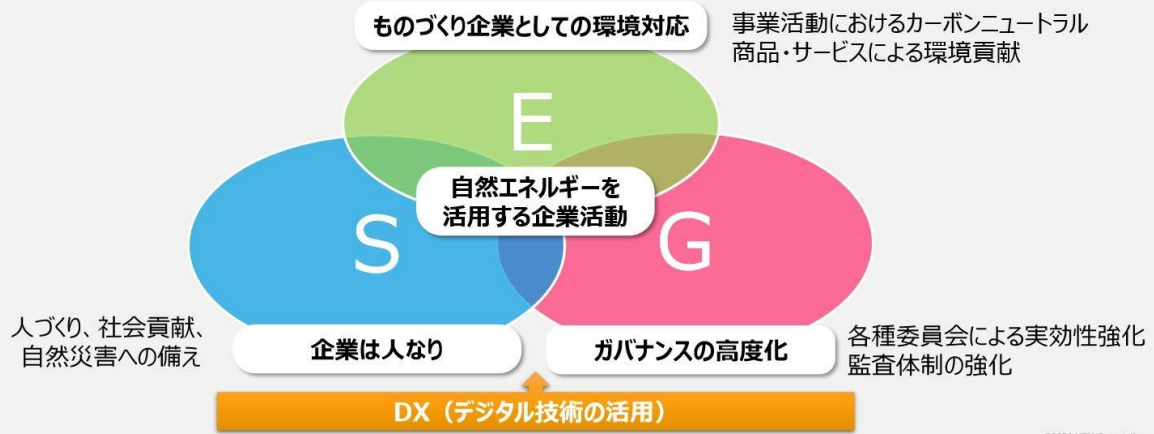
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



サステナビリティ活動とは

NTNグループの事業活動を通じて、

人類が安心・安全に生活できる美しい地球を次世代へ引き継いでいくこと



©2024 NTN Corporation 5

5 ページをご覧ください。当社グループのサステナビリティ活動の考え方を示しています。サステナビリティ活動とは、人類が安心・安全に生活できる美しい地球を次世代へ引き継いでいくことと考えています。そのため、当社はものづくり企業として事業活動におけるカーボンニュートラルを進めるほか、地球環境に資する商品・サービスを提供しています。

社会面では、企業は人なりを基本として、人材育成や働きやすい環境整備に注力するだけでなく、これらの活動の実効性を高めるためガバナンスの高度化に取り組んでいます。また、デジタル技術を活用し、これらの取り組みを強化しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 「SQCCD」と「NTNドリブン」

## SQCCD：事業運営の柱

- 全従業員が行動改革・意識改革
- ものづくり企業の背骨として全従業員へ共有

## 2035年度の姿

## NTNドリブン：マインドセット

- NTNを起点とした行動で付加価値を提供
- 自分事にするマインドセットで事業構造の変革に挑戦

## DRIVE NTN100 Final

## 事業構造の変革

アフターマーケット  
ビジネスの拡大OEMビジネスの  
競争力強化新商品の創出と  
新事業の育成

## 変革を支える戦略

## バリューチェーン改革

- 設計改革、商品化スピードの向上
- 調達改革、生産改革、物流改革
- 守る品質、攻める品質、儲ける品質

## 経営基盤の変革

- 新組織体制によるポートフォリオ強化
- KPIを用いた施策推進とフォローの強化
- デジタル技術の活用による利益創出

## ESG経営の進化

- カーボンニュートラル・サステナブルへの対応
- 多様性を尊重した人材育成や働き方
- ガバナンスの高度化、リスク管理の強化

## SQCCD

Safety Quality Compliance Cost &amp; Cash Delivery &amp; Development

## カスタマーファーストを前提としたNTNドリブン

事業構造の変革に挑戦するためのマインドセット

©2024 NTN Corporation 6

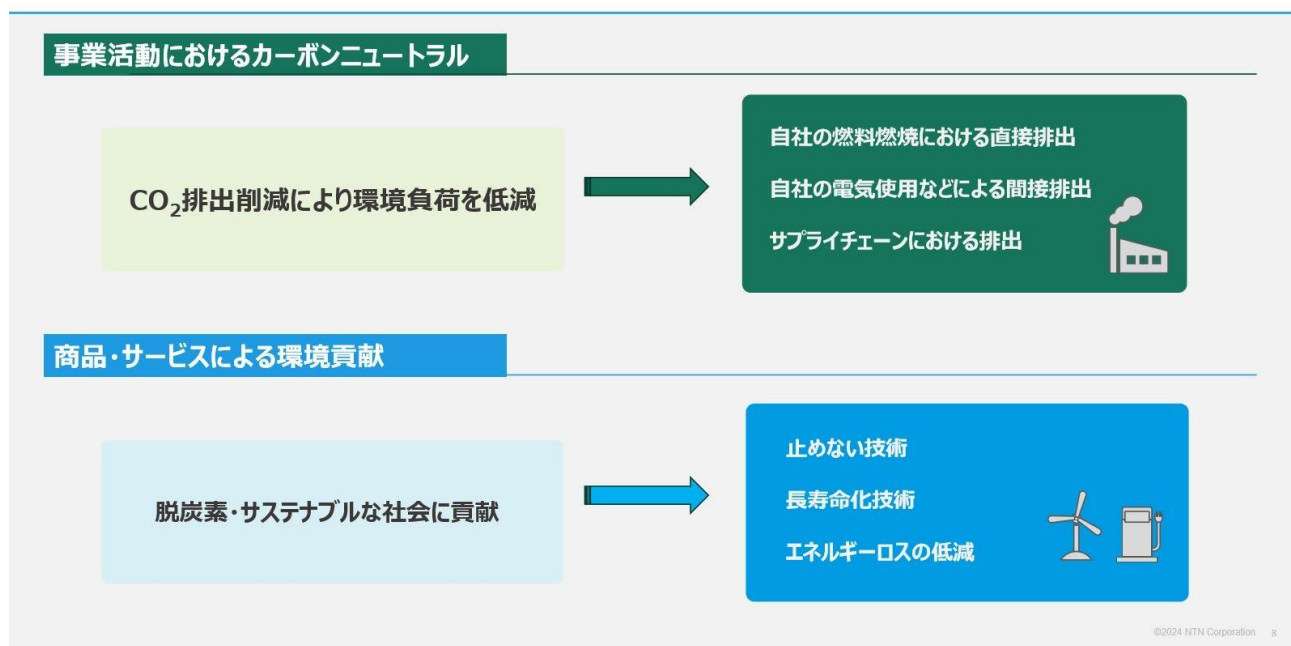
6 ページをご覧ください。当社は、本年から3カ年の中期経営計画「DRIVE NTN100」Final をスタートし、ESG 経営の進化も重要な施策の一つと位置付けています。それぞれの施策を進めるために、根幹となる二つの考え方がSQCCD と NTN ドリブンです。

一つ目に、事業運営の柱としてSQCCD を掲げています。日頃から全世界の従業員が身近な心構えとして、安全、品質、法令遵守、コストとキャッシュ、納期そして開発を念頭に行動変革することを徹底しています。

もう一つが、カスタマーファーストを前提としたNTN ドリブンです。事業構造の変革に挑戦するためのマインドセットであり、NTN 起点の行動施策で付加価値を提供できるよう、生産、販売、技術部門が一体となって競争力を磨き、常に相手の立場に立って考え、自分ごととして仕事を進めることを社内に浸透させています。これらの考えは、私を含め経営陣がタウンホールミーティングなどを通して直接全従業員へ説明しています。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



次に、環境における取り組みについてご説明します。8 ページをご覧ください。当社は、ものづくり企業として事業活動、すなわち、材料を買う、作る、売るの中で CO2 排出を削減し、環境負荷を低減します。

さらに商品やサービスを通じて、環境負荷低減の価値を提供することで、脱炭素、サステナブルな社会に貢献します。これら両面から環境対応を進めており、初めに事業活動におけるカーボンニュートラルからご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

NTNグループのカーボンニュートラル目標

CO<sub>2</sub>排出量削減目標（スコープ1・2）  
2030年度までに50%削減（2018年度比）  
2035年度までにカーボンニュートラル達成

CO<sub>2</sub>排出削減目標（スコープ3）  
2050年度までにカーボンニュートラル達成

カーボンニュートラルに向けた推進体制



©2024 NTN Corporation 9

9 ページをご覧ください。当社グループが掲げる目標は、2035 年度までにグループ内のカーボンニュートラル達成、2050 年度までにサプライチェーンを含むカーボンニュートラル達成です。

目標達成に向けて、2023 年 4 月にカーボンニュートラル戦略推進部を発足させ、同年 7 月に全社的なカーボンニュートラル推進委員会および地区部会を設置し、グローバル推進体制を整備しました。委員長は社長である私が務め、半年に 1 回、本社と世界各地をオンライン接続し、委員会を開催することで、好事例を情報共有、グローバルで横展開し、相互啓発を図っています。

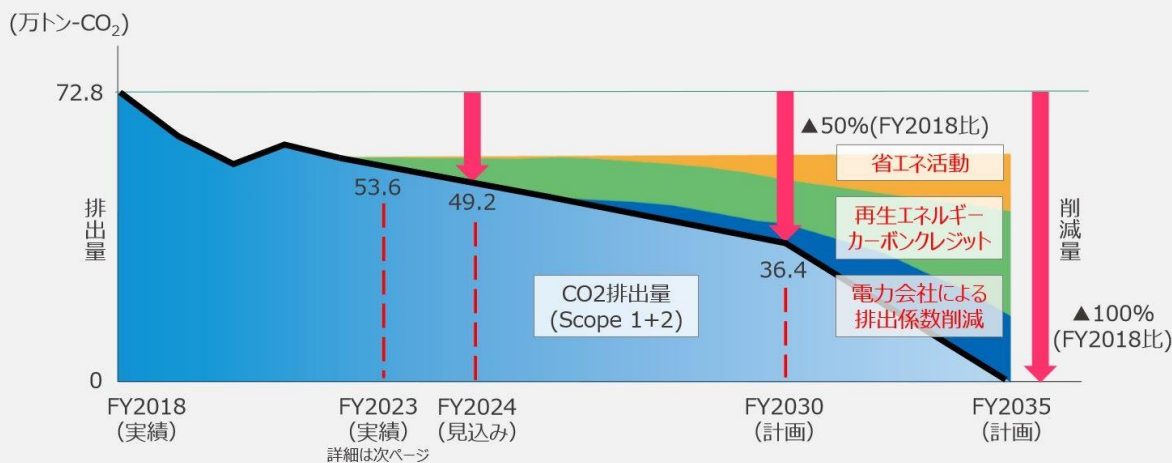
また、委員会で審議された内容は、単独またはサステナビリティ委員会と合同で、適宜取締役会に報告する仕組みを構築しています。

サポート

日本                      050-5212-7790    米国                      1-800-674-8375  
 フリーダイヤル      0120-966-744    メールアドレス      support@scriptsasias.com

カーボンニュートラルロードマップに基づく活動推進

- 2024年1月 カーボンニュートラル推進委員会において、各地域のロードマップを集約したグローバルロードマップを共有
- 各地区の活動により、グローバル目標を達成



©2024 NTN Corporation 10

10 ページをご覧ください。2024 年 1 月に各地域のロードマップを集約したグローバルロードマップを作成し、全社共有しました。各地区の活動推進を確実にフォローし、2035 年の目標達成を実現させてまいります。

このページでお示ししているのは、Scope1、Scope2 における自社グループ内の CO2 排出削減計画です。2023 年度までの実績詳細は、次のページでご説明いたします。2024 年度上期は、速報値で 24.6 万トンの CO2 排出となり、実績を 2 倍にすると、通期は 49.2 万トンと見込まれ、今期も目標を達成するレベルで推移しています。

なお、当社の Scope3 は、購入した製品・サービスに当たる鋼材の購入が大半を占め、サプライヤー様などとの協業が不可欠です。一部のお客様は、CO2 排出削減につながる設備や鋼材の調達にかかるコストを負担してでもカーボンニュートラル達成につなげたい意向で、環境価値を付加価値と認めてもらえる世の中に変化しつつあると実感しています。既に欧州のお客様を中心に、当社商品のカーボンフットプリントに関する問い合わせに対応しているほか、今年度新たに Scope3 のワーキンググループを日本に設置しました。今後、Scope3 の削減に向けたロードマップの作成を進めます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

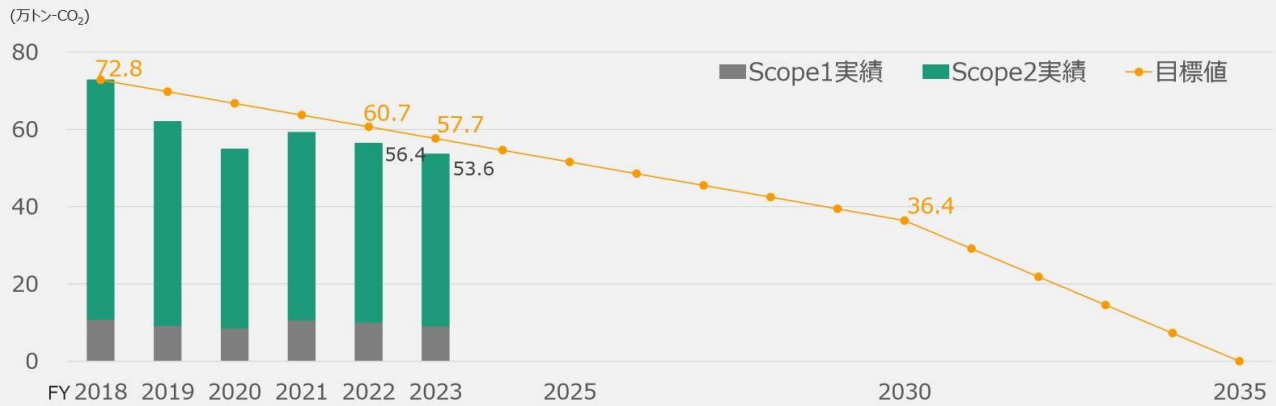
## ②-4 事業活動におけるCO<sub>2</sub>削減実績

### 年間目標を達成する水準で推移

■ 2023年度実績

スコープ1（直接排出）90,943トン（国内 50,591トン 海外 40,352トン）

スコープ2（間接排出）445,425トン（国内 219,669トン 海外 225,756トン）



©2024 NTN Corporation 11

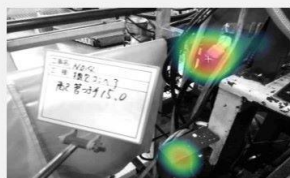
11 ページをご覧ください。2023 年度までの実績です。折れ線グラフは、中期経営計画で公表したグローバルカーボンニュートラル目標、棒グラフが CO<sub>2</sub> 排出量の実績です。

2023 年度は、日本の電力排出係数が大きくなった影響があったものの、2023 年 6 月から開始した CO<sub>2</sub> フリー電力購入が排出量の削減に寄与し、目標値を上回る削減を達成しました。

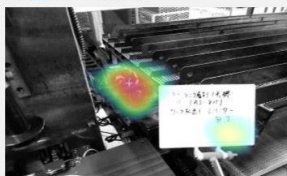
## ②-5 事業活動で使用するエネルギーの削減

### ムダを見える化、エネルギー使用を削減

- 省エネ施策の成果はデータベース化し、海外の事業所に好事例をグローバル展開
- 新規設備投資は、投資判断指標としてインターナルカーボンプライシングを導入（2023年度～）



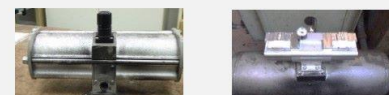
CO<sub>2</sub>削減量  
17,051kg-CO<sub>2</sub>/年  
(実施対象：275箇所)



エアリーク箇所を視覚的に表示できる「エアリークビューワー」を用いて対象箇所を特定し、補修した事例（磐田）



CO<sub>2</sub>削減量  
27,141kg-CO<sub>2</sub>/年



エアリーク計の設置により工程ごとのエア使用量を見える化した結果、増圧タンクのエアリーク発生が判明し、対策した事例（桑名）

©2024 NTN Corporation 12

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

次のページから、カーボンニュートラルに向けて実践している施策をご紹介します。12 ページをご覧ください。最優先事項は、省エネルギー活動の推進です。製造業として多くの工場を稼働し、ものづくりをする中、限りあるエネルギーを効率的に使用します。一例として、設備の稼働に必要なエア圧に使用するエネルギーロスは古くからの課題でした。カーボンニュートラル戦略推進部が国内の生産拠点を訪問して、見える化のためのツール導入を実演、指導し、各工場エア漏れ対策を進めています。

スライドに、磐田と桑名の事業所における具体的な取り組みを示しています。このように効果が得られた事例はデータベースで共有しており、今後は好事例をグローバル展開する予定です。

また、2023 年度から ICP、インターナルカーボンプライシングを導入しました。設備投資の際は、経済的かつ CO2 排出量が少ない設備を選定するための指標としています。ランニングコストがかかる空調設備などの付帯設備で導入効果が見られ、今後も設備投資においては ICT を投資判断の基準として活用してまいります。

## ②-6 事業活動に自然エネルギーを活用

NTN

### 国内外の事業所で太陽光発電の導入を拡大

#### ■ オンサイトPPAモデル



和歌山製作所  
(2024年10月～)



#### ■ 税制優遇を活用した自己投資



タイの製造拠点における  
ソーラーパネルシステム設置式典  
(2024年8月)



→ カーボンニュートラルの推進に加えて、電力調達のコスト低減により原価低減につなげる

©2024 NTN Corporation 13

13 ページをご覧ください。各地の事業活動では、自然エネルギーを活用し積極的に太陽光発電を国内外に導入しています。直近の新たな事例として、和歌山製作所がオンサイト PPA モデルを導入し、本年 10 月より発電および自己消費を開始しました。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS  
Asia's Meetings, Globally

太陽光発電は、これまで初期投資不要の太陽光 PPA が中心でしたが、タイでは政府の税制優遇を得られる奨励投資制度を活用し自己投資しました。太陽光発電は、カーボンニュートラルの推進のみならず、電力調達コストの低減にもつながるため優先的に取り組んでいます。

## ②-7 商品・サービスによる環境貢献（NTNの付加価値）

NTN

### 社会課題の解決に貢献

#### 「なめらかな社会」の実現に向けてNTNが提供する付加価値

- 1) 止めない技術
- 2) 長寿命化技術
- 3) エネルギーロスの低減



「なめらかな社会」  
の実現



©2024 NTN Corporation 14

14 ページをご覧ください。ここからは当社の商品・サービスに関して説明します。冒頭に触れましたとおり、当社は 100 年以上にわたりエネルギーロスを極限まで低減する技術を提供してまいりました。これまで軸受というハードの売り切りが中心でしたが、システムやソフトを加えてデータを活用することで、サービスも強化し地球環境に貢献します。

私は、メインテイン、すなわち維持はサステイン、すなわち持続に通ずると考えており、サステナブルな社会に貢献するための当社の三つの付加価値について次ページ以降で紹介します。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

1) 止めない技術

- さまざまなサービスで適切なメンテナンスが可能になり、稼働率向上
- 設備・機械が止まるお客さまの機会損失の削減に貢献

<サービスの一例>

- 状態監視：軸受の異常を早期に検出し、設備の保全コストを削減
- 診断提案：監視データを分析・診断後、レポート結果を提供
- 点検調査：点検と損傷状態の調査を行い、軸受の状態を判定
- 軸受保全：安定稼働に向けて軸受の保全サービスを提供



風力発電装置用  
状態監視システム「CMS」



NTNポータブル  
異常検知装置



しゃべる軸受



©2024 NTN Corporation 15

15 ページをご覧ください。初めに、止めない技術です。軸受ライフサイクルマネジメントを通じて、お客様のダウンタイム、すなわち設備・機械が止まる時間を削減するとともに、設備の故障や操業停止を未然に防ぎ、停止に伴う無駄削減や運用保守コストの抑制に貢献します。また、状態監視サービスを拡充することで、補修交換需要にも対応します。

風力発電装置用の CMS、コンディションモニタリングシステムはセンサーを内蔵し、24 時間データを収集することで、適切なタイミングでメンテナンスを可能にします。また、定期的なラインメンテナンスでは、手のひらサイズの装置で簡易に測定し運転状況を分析できます。

ベアリングが自ら発電し異常を発信する、しゃべる軸受は、AI 活用も見据えた次世代ソリューションです。このように、お客様のご要望に応じた手法で機械をメンテナンスすることで、サステナブルな社会に貢献してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

当社CMS導入による風力発電の基盤づくり

■ 風力発電装置用 状態監視システム「CMS」

風力の状態を監視 → 異常を検知 → 適切なメンテナンス → 風力発電を止めない → サステナブルな社会の構築

■ 販売機会の拡大

当社の風力発電装置用状態監視システム「CMS」を搭載した風力PPAの導入



風力発電装置用  
状態監視システム「CMS」



ナセル部



風力発電装置（イメージ）

©2024 NTN Corporation 15

16 ページをご覧ください。当社の風力発電装置用 CMS と風力 PPA について、もう少し詳しくご紹介いたします。風車の状態を監視することで適切なメンテナンスが可能となり、CMS の普及が機械を止めない、エネルギーを効率よく使用するサステナブルな社会の構築につながります。今後、拡大が見込まれる風力 PPA、すなわち風力発電による電力を長期にわたり購入する契約は、当社の CMS を搭載している風力発電事業者から優先的に検討しており、既に複数の風力発電事業者と協議を始めている段階です。その他の風力発電事業者には、当社の CMS を提案し CMS の販売機会の拡大につなげるとともに、風力発電の基盤づくりに貢献してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2) 長寿命化技術

- 技術・品質に優れた軸受を提供し、生産効率の向上や省エネルギー化に貢献
- 軸受の長寿命化に努め、より長く使用いただくことで省エネに貢献

<商品の一例>

- 工作機械主軸用グリース潤滑軸受向け高速・長寿命グリース
- グリース潤滑軸受向け潤滑油給油ユニット
- 特殊熱処理技術 HA-C



工作機械主軸用「グリース潤滑軸受向け潤滑油給油ユニット」



工作機械主軸用グリース潤滑軸受向け「高速・長寿命グリース」



特殊熱処理技術「HA-C」

©2024 NTN Corporation 17

17 ページをご覧ください。ここでは長寿命化技術についてご説明します。当社の商品をより長く使用いただくことで、お客様の設備や機械の生産効率向上や省エネに貢献する技術です。例えば、全ての機械の始まりとなる部品を加工することから、マザーマシンとも呼ばれる工作機械は、環境対応として、エアオイル潤滑からグリース潤滑へ置き換えが進んでいます。

エアオイル潤滑は長期にわたって安定した潤滑が可能ですが、圧縮空気やエアオイル供給装置など 附帯設備が必要で、常にエアを供給し続けるなど、エネルギーを多く使用、消費します。一方、グリース潤滑は、軸受に封入されたグリースで潤滑するため、エアを供給し続けるエネルギーは不要ですが、軸受の発熱などによりグリースが劣化するため、高速回転用途では潤滑寿命がエアオイル方式より劣る傾向にありました。当社は、そのグリース劣化を抑制し、より長く使用いただける技術を開発しています。

また、熱処理で HA-C という特殊技術も開発しており、耐磨耗性や焼き付き性を改善し、機能を高めることで、軸受の小型化や長寿命化に寄与します。

各産業でカーボンニュートラルに向けた取り組みが加速する中、今後もあらゆる機械や設備で、より長くお使いいただくための長寿命化技術を極めてまいります。

サポート

日本                      050-5212-7790      米国                      1-800-674-8375  
 フリーダイヤル      0120-966-744      メールアドレス      support@scriptsasia.com

3) エネルギーロスの低減

- EV/HEVに求められる剛性と耐久性に優れた商品を提供
- 環境貢献度を追求した商品の開発・販売を拡大

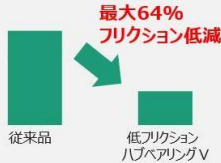
＜商品の一例＞

- EV向け高効率・低振動ドライブシャフト
- 低フリクションハブベアリングシリーズ
- 同軸e-Axle向け大径深溝玉軸受

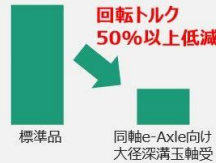
EV向け高効率・低振動ドライブシャフト



低フリクションハブベアリングV



同軸e-Axle向け大径深溝玉軸受



＜環境貢献商品の定義＞

1997年頃の性能を持つ商品を中心として、商品ごとに定めた環境フクタ基準に照らしてS～D-ecoグレードの5段階に分類

グレード	定義
S-eco	世界の技術水準をふまえて商品ごとに定めた環境フクタ基準に照らし分類
A-eco	世界の技術水準をふまえて商品ごとに定めた環境フクタ基準に照らし分類
B-eco	世界の技術水準をふまえて商品ごとに定めた環境フクタ基準に照らし分類
C-eco	世界の技術水準をふまえて商品ごとに定めた環境フクタ基準に照らし分類
D-eco	最終製品のエネルギー損失低減に寄与し、かつ1997年頃の性能と同レベルの商品

環境貢献商品の実績



CO2削減貢献量の推移



©2024 NTN Corporation 18

18 ページをご覧ください。商品・サービスによる環境貢献の最後は、エネルギーロスの低減です。EV や HEV など自動車の電動化が進む中、EV シフトは当社の機会と捉えています。EV に使用されるベアリングの総数は内燃機関車に比べて減りますが、当社のシェアが高い足回りの軸受は使用個数が減らず、高機能な商品が求められます。また、EV は四輪駆動の比率が高まり、1 台当たりの CVJ で需要が通常の 2 本から 4 本まで拡大します。

当社が提供する商品の一例として、トルク損失率を 70%低減した高効率・低振動ドライブシャフトは、既に量産を開始しており、現在、電動車向けでも多数の引き合いがあります。

右側のグラフは、環境貢献度を追求した商品の販売割合を数値化したもので、対象は主要商品であるドライブシャフトおよびハブベアリングと自然エネルギー商品です。2023 年度の CO2 削減貢献量は 161.3 万トン、近年の開発成果といえる S-eco から B-eco グレードの環境貢献商品の売上比は 55.7%となり、前年度から 3.1 ポイント増加しました。今後もエネルギーロスの低減を追求した商品を提供し続けることで、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



統合報告書「NTNレポート」の刷新

■ 国内外の投資家を主要な読者と位置づけ

財務・非財務情報を含め中長期的な企業価値の向上につながる開示を充実

■ 冊子の配布を廃止し、電子版に特化

資本市場における要望の高い検索性の向上やAI分析へ対応、地球環境保護に貢献



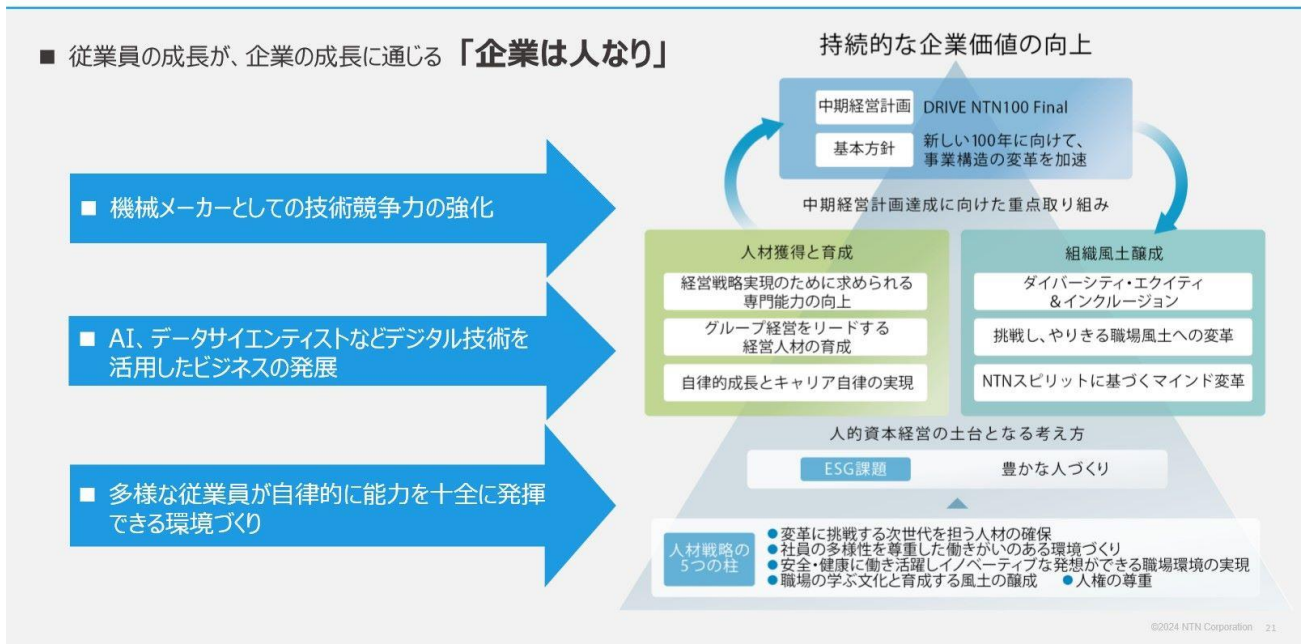
続いて、社会の取り組みについてご説明します。20 ページをご覧ください。初めに、本日ご参加いただいている資本市場の方々とのコミュニケーション強化策として、統合報告書、NTN レポートを刷新したことをご紹介します。

特に資本市場の皆様にお伝えしたい中期経営計画の施策や戦略を中心に、非財務情報も含め、中長期的な企業価値の向上につながる情報を充実させました。また、発行形態についても、本年度よりインタラクティブ PDF とすることで、掲載されているデータの検索性を向上させ、AI 分析に対応するとともに、冊子版を廃止し地球環境の保護にも貢献します。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





21 ページをご覧ください。社会面で欠かせないのが、人的資本に関する取り組みです。当社は ESG 課題の一つに豊かな人づくりを掲げています。企業活動を推進するのは従業員一人一人の力。まさしく企業は人なりと考えています。

当社は、ベアリングを中心とする機械メーカーとして、これまででもこれからも、その技術競争力を高めてまいります。

一方で、AI などのデジタル技術に代表される新しい技術を活用し、ビジネスをさらに発展させることも重要です。また、多様な従業員が自律的に能力を十全に発揮できる環境づくりのために、さまざまな施策を展開しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

### ③-3 人材戦略（競争力強化、ビジネス発展を支える人材育成）

#### 機械メーカーとしての技術競争力の強化

【世界QCサークル大会の開催】



【専門別研修および階層別研修などの実施】



【研修実施推移】



#### デジタル技術を活用したビジネスの発展

【データリテラシー、AIリテラシー講座の受講者推移】 単位：延べ人数



©2024 NTN Corporation 22

22 ページをご覧ください。具体的な活動内容としては、毎年作成する人材育成計画に基づき、年間で100件を超える企業内の大会や研修教育を行っています。また、これらの教育に加えて、従業員を対象としたデータリテラシー、AIリテラシー講座や、生成AIを活用した業務効率向上のワークショップを開催するなど、デジタル技術活用の裾野の拡大を図っています。今後も、これらの研修・教育を通じて、従業員一人一人の能力向上の機会を創出し支援を行ってまいります。

### ③-4 人材戦略（環境づくり）

#### ダイバーシティ&インクルージョン

<女性管理職比率 グローバル16.8% NTN単独4.5%>

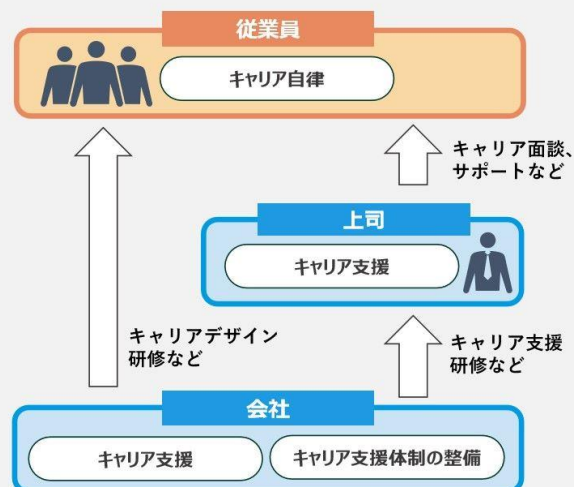


<育休取得総数および男性育休取得率>



©2024 NTN Corporation 23

#### 自律的なキャリア形成支援



#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

23 ページをご覧ください。当社は、国籍や文化、性別、年齢、障害の有無などにとらわれず、多様な人材が能力を最大限発揮できる職場環境づくりに取り組んでいます。女性管理職の比率はグローバルで徐々に上昇しており、引き続き女性がチャレンジしやすい計画的なステップアップ教育など、活躍を後押しする施策に取り組んでまいります。男性の育児休暇取得率は近年大きく上昇しており、引き続き啓蒙活動に取り組んでまいります。また、従業員が自律的に中長期的なキャリアについて検討する機会を与えるため、キャリア支援体制を整備しています。

キャリアを考える研修を幅広い年代層で実施し、従業員のエンゲージメントとモチベーション向上を促進することで、組織の活性化、人材の定着や業績の向上など、企業の継続的成長につなげてまいります。このような取り組みにより、従業員の自律的な成長が企業の成長につながる、すなわち企業は人なりを体現する環境を整備しています。

### ③-5 人々の安心・安全な暮らしに貢献



#### 防災・減災による自然災害の備え

#### 環境に配慮した生活基盤の構築

##### ■ 移動型独立電源装置「N<sup>3</sup>エヌキューブ」

##### ■ 欧州のバイクステーション



静岡県吉田町の水防センターの独立電源として採用 (2022年～)



国土交通省が選定した「防災道の駅」のひとつ徳島県の道の駅「いたの」で実証実験 (2024年9月)



ジュネーブ郊外で開催されたバイクステーションお披露目式 (2024年11月)

©2024 NTN Corporation 34

24 ページをご覧ください。サステナブルな地球に貢献する企業として、地球に住む人々の安心・安全な暮らしにも貢献しています。気象変動による自然災害が増加する中、移動型独立電源、N<sup>3</sup>エヌキューブを開発しました。

N<sup>3</sup>エヌキューブは、コンテナに小型風力発電装置や太陽光パネル、蓄電池を格納した移動可能な独立電源で、災害時も再生可能エネルギー100%で電力を供給します。静岡県吉田町では、災害時の活動拠点となる水防センターに採用されたほか、本年9月に徳島県で国土交通省のガイドライン

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





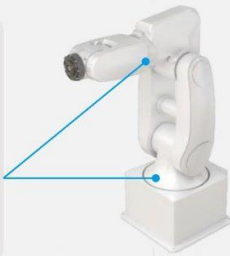



に沿って実証実験するなど、日本各地で活用が展開しています。本年1月の能登半島地震後、本商品を用いたエコトイレを被災地で活用いただいた事例もございます。

また、自転車通勤を推奨するフランスで、安全な駐輪場の役割を果たすバイクステーションの開発に参画しており、本年11月にジュネーブ郊外でお披露目式を開催しました。新分野の商品として、使い勝手や市場評価などに基づき開発を進めてまいります。

### ③-6 人口減少や気候変動による脅威へ対応

NTN

ロボット化に貢献	ライフサイエンス分野	
		
外観検査装置	手首関節モジュール i-WRIST	微細塗布装置
 <p>高分解能で絶対角度を検出する「複列磁気リング」</p> <p>サーボモータの小型化や高出力化に貢献する「サーボモータ用低発塵軸受」</p>		 <p>(例) iPS由来心筋細胞 (例) 医療用検査キット</p>
	ロボット	

25 ページをご覧ください。今後は、少子高齢化により労働力が不足し、人件費が高騰することが懸念されます。対策として、ものづくり現場の省人化と効率化に貢献します。当社のドライブシャフト技術を応用した i-WRIST は、先端にカメラを搭載し高速な位置決め技術により、外観検査の用途で活用されています。カメラのほかにも、多様な組み合わせにより、人手に頼っていた作業の置き換えを可能にします。

ロボット関節部では、磁気センサーを組み合わせた商品により、ロボットの緻密な動きの制御を支えています。ロボットに内蔵されるサーボモータの小型化、高出力化を可能とするベアリングも提供しており、ロボットの生産性向上に寄与しています。

また、気候変動に伴う健康被害も懸念される中、将来にわたり人類がよりよく生きるため、ライフサイエンスの取り組みが今後の課題です。iPS 由来細胞をプレート上に塗布した細胞チップの開発において、当社独自の微細塗布装置で3次元細胞組織を形成することが可能です。今後、次世代の創薬開発の効率向上やスピードアップにも貢献したいと考えています。

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

**SCRIPTS**  
 Asia's Meetings, Globally

私からの説明は以上です。

**長尾**：鶴飼社長、ありがとうございました。それでは引き続き、小松取締役、よろしくお願いいたします。

#### ④-1 コーポレート・ガバナンス体制



##### ガバナンス体制の強化

「カーボンニュートラル推進委員会」を設置し、カーボンニュートラルの実効性を高める体制を整備



©2024 NTN Corporation 37

**小松**：取締役の小松でございます。私からガバナンスの取り組みについてご説明申し上げます。

では、まず 27 ページをご覧ください。初めに、ガバナンス体制について申し上げます。当社は、地球環境に貢献する企業として、カーボンニュートラル推進委員会を 2023 年度に設置しました。カーボンニュートラルの実効性を高める体制を整備しております。

執行側のその他の委員会と同様に、カーボンニュートラル委員会で審議された内容は定期的に取締役会に報告される仕組みを構築しており、カーボンニュートラルに向けてガバナンス体制を強化し、強力かつグローバルに推進しております。

機関設計としましては、当社は 2019 年に指名委員会等設置会社に移行いたしました。私は 2020 年 6 月に社外取締役に就任し、22 年 6 月から取締役会の議長を拝命した立場で、当社の課題についてご説明申し上げます。

私が就任して間もない頃、前中期経営計画「DRIVE NTN100」フェーズ 2 が始まる前の時期でしたが、私が取締役会で指摘した事項が 3 点ございました。一つは利益率、資産効率等、競合他社と比

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

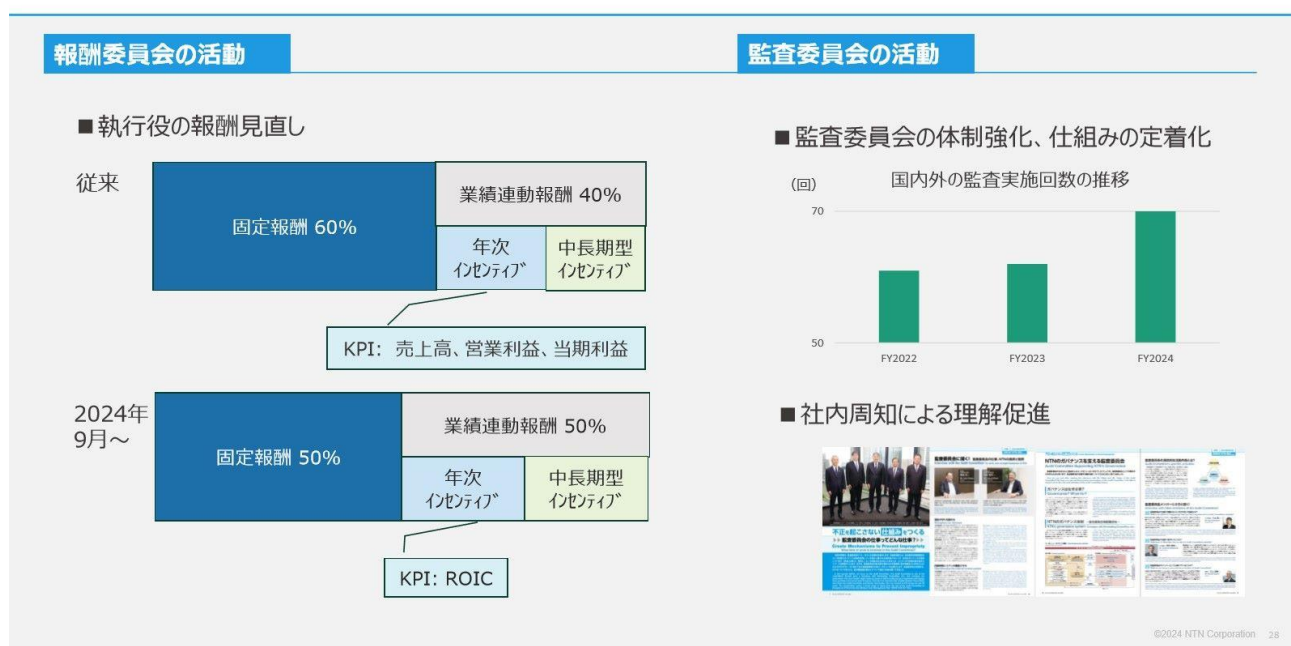


較して極めて低い点。二つ目が財務体質の強化が必要である点。最後に事業ポートフォリオの戦略が見えない点でございます。

それから3年以上がたちました。現在のNTNは当時に比べまして営業利益率、ROEが向上し、D/Eレシオをはじめとした財務体質も改善しております。ポートフォリオにつきましても、アフターマーケットを拡大する方向性は正しいと評価しておりますが、一方、スピードについては課題が残ると感じております。

## ④-2 ガバナンスの高度化

NTN



次のページで、変革のスピードを加速させるための活動についてご報告申し上げます。28ページをご覧ください。まず、報酬委員会の活動としまして、本年9月から執行役の報酬を見直しました。従来は固定報酬と業績連動報酬の割合が6対4となっておりますが、5対5に改め、業績連動の割合を高めております。

また、年次インセンティブである賞与の算定に関わる指標は、これまでは連結業績の売上高、営業利益、当期利益としておりました。今回、比率の見直しと併せまして、より資本効率を考慮した利益成長の達成度を重視する観点から、賞与の指標をROICに見直しました。

資本効率に対する経営のコミットメントを強化することで、NTN再生の完遂につなげたいと考えております。この見直しによりまして、業務執行におけるスピードの加速を期待しております。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

**SCRIPTS**  
 Asia's Meetings, Globally

一方、持続可能かつ健全な経営のために欠かせないのがガバナンスでございます。監査委員会の活動も強化しており、メンバーが年間に60カ所以上の国内外の事業所を実際に訪問、監査して経営課題を提起しております。

体制につきましては、2024年6月に監査委員会の人員を4名から5名に増強しました。監査委員会メンバーと社長だけではなく、執行役一人一人と定期的に対話の機会を設けており、執行サイドは監査委員会メンバーの意見に耳を傾け、必要なアクションをすぐに起こす仕組みが定着しております。また、従業員にも社内報を活用するなど、監査委員会の活動に対する理解促進を図っております。このような仕組みづくりと運用によりまして、中長期的な企業価値の向上につながっております。

当社の営業利益率やROEを早々に2桁に持っていくことが必要と認識しておりまして、時には厳しい指摘も含め企業価値の向上につながるよう執行を監督してまいります。

私からの説明は以上です。

**長尾**：小松取締役、どうもありがとうございました。

---

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 質疑応答

---

**長尾 [M]**：それでは、質疑応答のお時間に入らせていただきます。

ありがとうございます。それでは初めに UBS 証券の佐々木様、ご質問をよろしくお願いいたします。

**佐々木 [Q]**：UBS 証券の佐々木です。よろしくお願いいたします。会社が変わりましたが、今後ともよろしくお願いいたします。

まず初めに小松様に、毎年このように説明会にご登壇いただきありがとうございます。小松様から見た経営の状況について、今どのような状況かというところをお伺いしたいと思います。

ちょうど先ほどのプレゼンであったようなのが今の状況だと思うんですけども、やはり 2 年前からのお話として、今の体制になって経営のスピードというのはかなりトップマネジメントレベルだと早くなってきたというお話は理解しておりますが、一方で 2 年前ですとか昨年のお話でも、やはりそれが現場レベルの浸透ですとか、先ほどのところでも、やはりスピード感が遅いというお話があったと思います。そうした全社レベルでのこうした経営のスピード感の改善とか、あと現場の浸透が実際に小松様から見て、どのようにお見えになられているのか、もしよろしければわれわれにシェアしていただくことは可能でしょうか。こちらが 1 点目になります。

**小松 [A]**：では、まず 1 点目のご質問に答えさせていただきます。スピード感ということに関して言いますと、再三スピードが遅いと社内にも皆様にもお伝えしておりますが、遅いとはいえ、スピードが上がっていることは確かでございます。

ただ、それが、私も金融業界におりましたのでよく承知しているのですが、皆様が期待するスピード、もしくは社外が求めるスピードにまだ達していないということが指摘していることでございまして。現場レベルでもスピードは徐々に上がってきているとは感じております。

さらに、先ほど申し上げましたけれども、執行役、取締役もそうですが、ROIC を評価指標としたということに併せまして、当然その下のレベルの方々についても ROIC を当然指標の全てではございませんが、一つとして取り入れていることを想定しますと、システムとしても現場レベルまでスピードアップを図るインセンティブというか、モチベーションをビルトインしておりますので、今後さらにスピードは加速するのではないかと考えております。

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

加えまして、先日、グローバルマネジメントミーティングで社長とパネルディスカッションで、私だけではないんですが、その際に出席されている皆様に、私が率直に NTN の財務状況、もしくは利益状況についてアラートを出しまして、危機感を持ってくださいとお話しました。その後、各地域の方々が私のところにいらっしゃって、よく理解できたという話で、これは今後頑張るといようなコメントも多数いただいておりますので、私だけではなく社長や執行役の皆さんが現場の方とディスカッションをしていることですので、私としては今後、現場も含めて全社でスピードをアップしていくと期待しております。お答えになっていきますでしょうか。

**佐々木 [Q]**：ありがとうございます。二つ目ですけれども、今のお話を含めて、フォローアップでもう 1 問、小松様にお伺いしたいことがあります。

NTN レポートで小松様も指摘されていたことですが、NTN の課題の一つとして、やはり在庫回転率というか、そこが低いという問題があると思います。そこはご指摘されているとおりですし、まさに在庫がたまるというのは、この ROIC が低くなる要因ですから、非常にここは経営課題だと外部から見ていると思うのですが、

これは率直に言って内部から見ると、小松様から見て、おっしゃったとおりいろんな課題というのが徐々に改善する中で、この在庫改善率の問題は、改善が遅れている背景はどこら辺にあるのか。そして、それを今後どのように改善していけばいいとお考えなのか、もしよろしければこの点についてもフォローしていただくことは可能でしょうか。すみません、よろしくお願いいたします。

**小松 [A]**：ご指摘のように、いろいろな改善している指標もある中、在庫回転率も過去の水準に比べれば改善をしておりますが、会社の規模ですとか、そういったことも考えますと、やはり悪い状態が続いていることはご指摘のとおりだと思っておりますし、私だけではなく、社長もしくは社外取締役も指摘はしております。

その上でなかなか改善していない状況というのは申し訳なく思っているんですけども。一つとしましては、現場の人間にとっては、クライアントのオーダーに適時対応している、もしくはオーダーが想定どおりになっていないというような理由はたくさんあると思うんですが、やはり私自身の意見としましては、在庫のコストというものを皆さんがよくご理解されていないからだと考えておりました。再三の提案はしてはいたんですけども、特に営業ですとか生産現場の方々にとっての指標として、在庫コストを勘案した形の評価というものを検討してはどうかと再三申し上げておりました。

それについては、本社のほうでもよく考えていただいて、かなりの率で在庫コストを加味した上で評価をするというシステムがこれから浸透していくと思っております。加えまして、在庫回転率と

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



いうものが明確に執行役はもちろん、管理職の人事評価の KPI に設定されておりますので、今後はスピードアップしていくと私は思っております。

**佐々木 [Q]**：ありがとうございます。最後に、長くなってすみません、3 点目ですが、逆にお話しいただいたところの中で、小松様から見て 2021 年、3 年間ぐらいの時間軸でお伺いしたいんですけども。これは本当に NTN 良くなったよ、これは変わったよと特に強く感じられるものがあったら、ぜひ最後にそこをわれわれにシェアしていただくことは可能でしょうか。よろしくお願いいたします。

**小松 [A]**：明確にいきますと、もう財務規律はかなり強化されていると。在庫を除いてということですが。あとは利益率ですとか、そういったことに関する意識もかなり高くなっていると感じております。それがトップの方だけではなく、その下の方々にも浸透していると思っております。あと財務的ではないですが、コンプライアンスに対する意識ですとか、そういったことに関してもかなり強化されておりますので、ガバナンスがかなり進捗したといいますか、いい方向に向かっていると思っております。

あとは、意識改革というものも、スピードが皆さんのご期待に沿うスピードではないにしても、徐々に徐々に浸透はしておりますし、社長が繰り返し変わらなくてはいけないということをメッセージとして伝えているんですが、それも徐々に浸透していると私は感じておりますので、その数字的に劇的な V 字回復というのを初年度はしましたけれども、その後のスピードについてもこれからは改善スピードが上がると思いますし、今中計をコミットした内容をちゃんとコミットしたように実行できれば、一皮むけた形で次の成長ステージに行くのではないかと考えています。

**佐々木 [M]**：大変参考になりました。どうもありがとうございました。

**小松 [M]**：ありがとうございます。

**長尾 [M]**：佐々木様、どうもありがとうございました。

それでは、野村證券の王様、ご質問をよろしくお願いいたします。

**王 [M]**：お世話になっております。野村證券の王でございます。

**長尾 [M]**：よろしくお願いいたします。

**王 [Q]**：小松様にお伺いさせていただきたいんですけども。今期からセグメントを変更されておりました、こちらはいろいろ事業を見ていく上でとか、あと事業を推進していく上で、どういったプラス効果があるように見えていらっしゃるのかについてお伺いできますでしょうか。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



**小松 [A]**：セグメントの変更についての私の意見ということでよろしければ申し上げますけれども、今までの自動車、産業機械、アフターマーケットという以前のセグメントと変わらして、軸受ですとか、アスクリみたいな形で製品別に変えることによって、最大のポジティブの面は、当然自動車であろうと産業機械であろうと、一つの工場でベアリングをつくっているものが、一つは自動車に行き、一つは産業機械に行きという形になっておりますので。

先ほどから提起されております在庫の問題ですとか、生産効率を追求するということに関しまして、自動車、産機のセグメントで分けられているとスムーズにいかないと社内も思っておりますし私も同意しております。

今回、製品別にして、全方位の形で最適な在庫ですとか、最適な生産、供給体制ということを構築するということと、それぞれの製品にとっての利益率ですとかコストというものをより明確にするという意味では、今回行いましたセグメント変更のほうが、より改革ですとか見える化に貢献するセグメントだと思っております。お答えになっておりますでしょうか。

**王 [Q]**：ありがとうございます。大変よく分かりました。あと2点目、すみません、いろいろ新しいビジネスとしまして、ロボット事業関連とか、i-WRIST のところとかもご紹介いただいているんですけども。こういった新製品の、現在導入されているご進捗というところがもしありましたらご紹介いただけないでしょうか。

**中野 [A]**：中野でございます。私からお答えさせていただきます。この i-WRIST を使っています、特に外観検査の分野に適用をいただいております。特に最近ですと、電動車化でアルミのケースが需要も増えておるんですけども。

その中で例えばアルミの場合は、中に鑄巣（ちゅうす）と呼ばれる小さな空洞ができて。そういったところを今までは人がチェックをして、外観検査でチェックして品質を担保していたのですが、例えばこの i-WRIST は、高速で、自動でその辺りの外観検査を行えるものですから、特に今ではアルミケース等の鑄造物のそういった鑄巣のところの外観検査に適用させていただいております。

**王 [M]**：ご説明いただきましてありがとうございます。私からは以上です。

**長尾 [M]**：王様、どうもありがとうございました。

それでは大和証券の田井様、ご質問をよろしく願いいたします。

**田井 [Q]**：すみません、田井です。小松さんに1点伺いたいんですけども。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



今年1年で、NTNの国内外の拠点をどのぐらいの回数、もしくは拠点数を訪問して、どのぐらいの人にお会いになったかを教えていただきたい。可能であれば、それが去年と比べてどう変わったのかというのを教えていただけますか。

**小松 [A]**：社外としてですか。海外拠点を訪問しているのは監査委員会のほうです。私が直接海外の拠点を回っているわけではございませんので、その詳細の数については事務局からお答えしていただければよろしいですか。

**田井 [Q]**：ごめんなさい、小松さん、続けていいですか。今、現在の中計で、今年、来年でいろいろとアセットの見直しを行って、アセットを圧縮して、3年後にROEを大きくジャンプアップさせましょうという物語で走っていると思うんですけれども。そういう意味では、アセットの主たる対象となる拠点を回るのは、取締役の仕事の一つとして非常に重要なステージだと思うんですけれども。そういうご認識とか意識というのはあまりないですか。

**小松 [A]**：海外に関しては、監査委員会のメンバーが業務監査も同時に監査をするということで、皆さんいろんな拠点到っていらっしゃいますので、私としては国内拠点であれば回りますけれども、海外については、基本的には社外の人間としては監査委員会のメンバー。あと、山本をはじめ執行役がヨーロッパですとかアメリカとか、かなり密に訪問したりやっていますので、そちらにおまかせしている状態で、拠点を訪問することが重要ではないという認識は全くございませんし、大変重要だと思っておりますが、私が直接回っているわけではないということですが。

**田井 [M]**：分かりました。結構です。ありがとうございます。

**長尾 [M]**：田井様、どうもありがとうございました。

ほかにご質問のある方がおられないようですので、まだ終了時間前ではございますが、以上をもちまして、当社、NTN株式会社のESG説明会を終了いたします。

本日はご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

**鶴飼 [M]**：ありがとうございました。

[了]

---

## 脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

